

「全鍍連」 2024年 2月号 組合員の広場

山梨県鍍金工業組合

遠山 龍太郎 (エレクトー(株) 甲府事業所 所長)

「交通インフラ」

1982年中央自動車道全線開通は今から40年前の事になります。勝沼IC～甲府昭和ICの開通で首都圏・甲信地方・中京圏まで高速道路でつながり、道路名も中央高速道路から中央自動車道に変更されました。

現在の道路事情で所要時間を考えると、勝沼ICで高速を降りR20号バイパスを経由して甲府昭和ICまで行くのと、そのまま高速で甲府昭和ICまで行くのでは倍以上の所要時間を要します。また朝夕の渋滞時には所要時間は読めないのが現状です。この全線開通の経済効果は、所要時間の短縮などにより企業の生産性が大きく向上、その効果は40年間の累計で約26兆円になるそうです。各方面への長距離移動手段としてのバスによる高速移動が可能になり移動手段の選択肢が増えたこともメリットとしては大きいと思います。災害発生時には東名高速の迂回路としても重要な機能が期待されるようです。

山梨県の交通インフラとして次に期待されるのがリニア中央新幹線です。品川と山梨を約20分、品川から名古屋を約40分で結びます。山梨実験線では2027年以降の開業に向けて一日平均2,000kmの距離を時速500kmで走行しているそうです。品川－名古屋 区間の86%がトンネルとなる計画で地上区間は約40km、そのほとんどが山梨県内となります。この地上区間では、春の甲府盆地は桃の花が咲き桃源郷となり、南アルプスや八ヶ岳など素晴らしい景色が期待できるかもしれません。

山梨県は、人口79万人とちょっと寂しいですが 皆さんが良くご存じの富士山、ぶどう、桃、ワイン、温泉のほかミネラルウォーター出荷量や日照時間は日本一と思いがけないところもあります。

リニア中央新幹線は富士山の北側を通り東海道新幹線のように富士山は見えないと思いますが、開業の際は時速500kmの世界で、首都圏や中京圏から山梨県にアクセスしてみたいかがでしょうか。